

みなみそうま

号外 第9号

平成23年8月1日

編集・発行 南相馬市市長公室すぐにやります課 ☎245238 FAX245229

ハエ・蚊の発生を 防ぎましょう

夏は、ハエや蚊が発生しやすい季節です。今年は津波によるガレキやヘドロ、魚介類の腐敗の影響で、ハエなどの害虫が増えやすくなっています。

国立感染症研究所の現地調査によると、石巻市や気仙沼市などでは食中毒菌を媒介しやすい「イエバエ」が急激に増えており、感染症のリスクが高まっています。ハエや蚊の発生を防いで快適に過ごせるよう、身の回りの衛生管理に注意しましょう。

ごみ集積場や水たまりなどで発生しやすい！

害虫が発生してから殺虫剤を散布するのではなく、発生源を無くして害虫の発生を防ぐことが大切です。ハエや蚊は成虫になると駆除がより難しくなりますので事前の対策が重要です。ハエは、生ごみや汚物、動物の死体などに産卵します。

このような発生源を早めに片付けましょう。蚊の中でも一般的な「アカイエカ」は、数百個以上の卵を塊として下水溝や雨水ますなどの水面に産卵しますので、水たまりをなくして産卵できないようにしましょう。



イエバエ
(体長5～8mm)
積極的に家屋に侵入する習性がある。



アカイエカ
(約5.5mm)
主に夜間、寝ている人の血を吸うことが多い。



仮設住宅のごみ集積所

- ・ごみは、指定のごみ袋に入れ、収集日の朝に指定集積所に出しましょう。
- ・生ごみは、袋を二重にするなど、中身が漏れないようしっかりと密閉しましょう。
- ・集積所は、定期的に清掃しましょう。
- ・集団生活している避難所では、食品の管理や残飯処理を適切に行い、皆さんで協力して清潔な避難所を保ちましょう。



夏から秋は 蜂にご注意を

夏は、蜂の活動が活発になり、例年に比べて蜂に刺される方が多くなっています。

蜂に刺されないために

- ・黒い服装を避け、帽子をかぶりましょう。
- ・野外で作業する際には、長袖長ズボンを着用するなど肌の露出を避けましょう。

蜂に刺されたときは

- ・身を低くしてその場から離れる。
- ・患部を強く絞りながら流水で洗い、水や水で冷やす。
- ・虫刺されの薬（抗ヒスタミン軟膏やステロイド軟膏）を塗る。

以前蜂に刺されたことがある方は、呼吸困難や意識障害などのショック症状（アナフィラキシー）が現れ、死に至ることもあります。早急に医師による適切な治療を受けましょう。